

二侯城跡発掘調査  
(第6次調査)  
現地説明会



2015年10月18日

浜松市文化財課

## 二侯城の概要

現在みられる二侯城の基本的な姿は永禄3年（1560）、桶狭間の戦いを契機に今川氏によって形づくられたとみられます。永禄11年（1568）、今川氏の滅亡により、徳川家康が二侯城を領有しましたが、三方原の戦いがあった元亀3年（1572）には、武田信玄に攻略されました。その後、長篠の戦いがおこった天正3年（1575）まで、徳川氏と武田氏による激しい二侯城争奪戦が繰り広げられました。武田氏が領有した二侯城を家康が攻める際には、旧二侯川南岸にある鳥羽山城に本陣を敷き、奪回を果たしました。

天正18年（1590）、家康の関東移封に伴い、豊臣秀吉の家臣、堀尾吉晴（浜松城主）の弟、堀尾宗光が二侯城主となりました。二侯城と鳥羽山城の主要部分には、石垣の構築をはじめとした大改修が行われ、二侯城には天守や瓦葺建物なども構築されました。堀尾氏の手によって本格的な城郭として整備が進められた二侯城と鳥羽山城ですが、慶長5年（1600）、関ヶ原の戦いの後、戦略拠点としての重要性は薄れ、廃城となりました。



# 調査の成果

## ①西曲輪の調査

昨年度の第5次調査において、高さ6mにも達する曲輪南面の石垣が良好な状態で保存されていることが明らかとなりました。

今回の調査では、曲輪の西面において、一部石材の露出がみられたことから、南面と同様に石垣が築かれている可能性が高いと考え、発掘調査を実施しました。

調査の結果、高さ約1.3m、幅約5mの規模で石垣が確認されました。上部はすでに失われており、根石から3～4段目までが検出されています。

調査区の北側は、公園の通路として造成されており、石垣の北端は確認できませんでした。また、石垣の南端もコンクリートの擁壁によって確認できませんが、南面の石垣と一体のものと考えられます。



西曲輪西面の石垣の検出状況

上部の石垣は失われており、後世に盛土されている。石垣の上方に多くの円礫がみられるが、上部の石垣が失われた際にその裏込石が崩れたものとみられる。



西曲輪西面石垣の裏込石の検出状況

裏込め石の残存状況から、石垣は本来2.5～3m程度の高さで築かれていたと考えられる。

## ②蔵屋敷の調査

蔵屋敷は過去に造成を受けていますが、石垣や土塁が残存している可能性があり、調査を実施しました。

調査はまだ途中ですが、石垣は積み方が乱雑で、後世に積まれた可能性もあります。

土塁と目された帯状の高まりも、人為的な盛土は確認されず、過去の造成の際に掘り残された部分の可能性もあります。

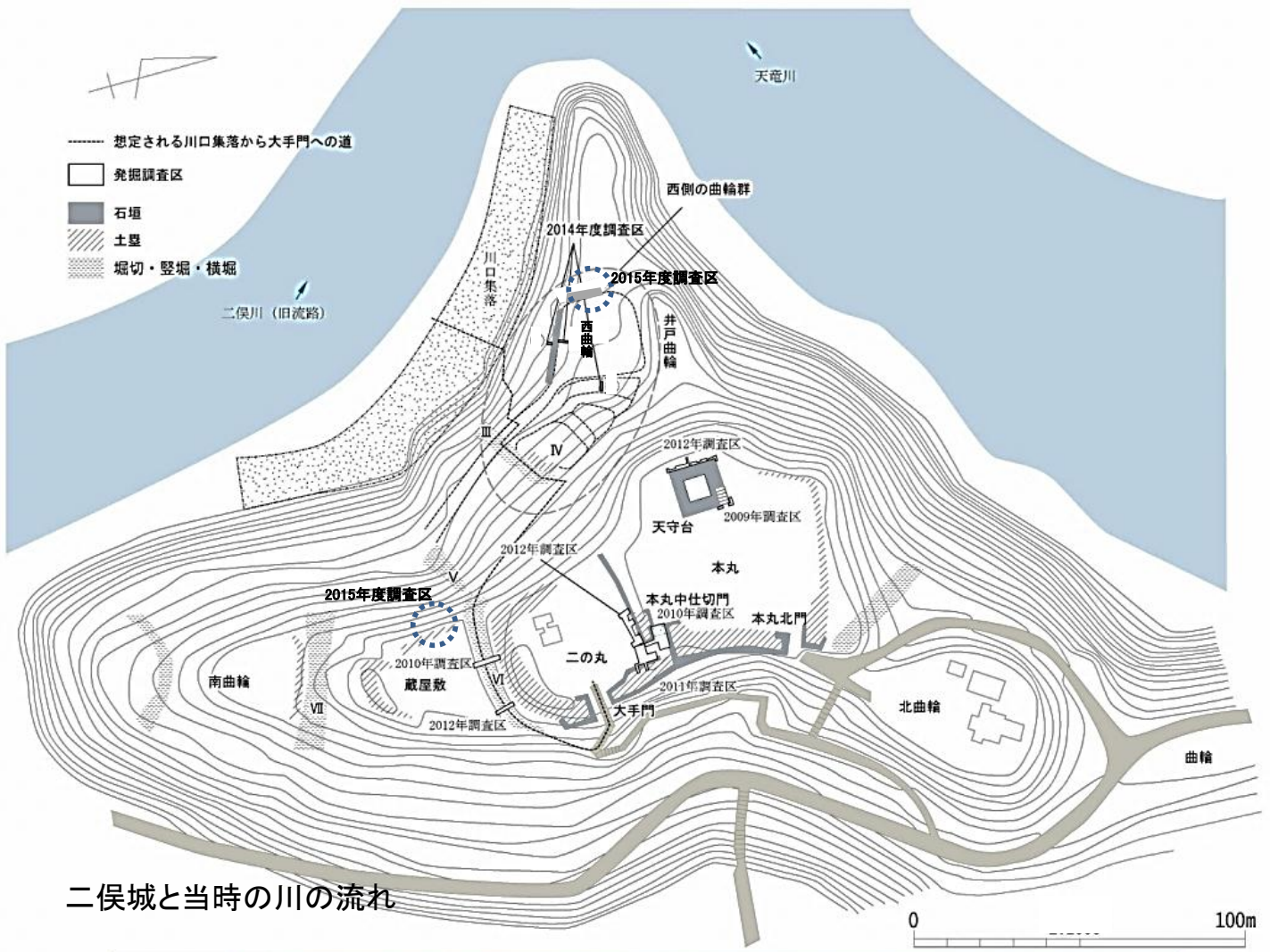


蔵屋敷西面の石垣の検出状況

## 調査成果から考えられること

二俣城の西側は、かつての二俣川と天竜川の合流地点にあたります。二俣城が使用されていた当時は、人や物の移動の手段として船を用いた水運が盛んであり、天竜川と二俣川の合流地点は多くの船が行き交っていたことが想像されます。西曲輪の石垣は、そのように川を往来する船からの景観を意識して築かれたものではないかと推測されます。

また、西曲輪の眼下には「川口」と呼ばれる古くからの集落が存在します。川口の集落は、立地状況等から二俣城へ船で行き来する人や物の発着地であった可能性が考えられます。川口の集落から見上げることのできる西曲輪に大手門周辺等と同等の石垣が築かれたのは、城の「もうひとつの玄関口」がある重要な場所だったからとも推測されます。



二俣城と当時の川の流れ

年代	勢力	日本史上のできごと	二俣城・鳥羽山城関連記事
1560	永禄	桶狭間の戦い	—この頃、二俣城の要塞化がはじまる—
	今川	永禄3年 (1560)	
1570	徳川	三方原の戦い	徳川家康、二俣城領有 武田信玄、二俣城占領 遠江に侵攻
	元亀	永禄11年 (1568)	
	天正	元亀3年 (1572)	
1580	徳川	長篠の戦い	徳川家康、二俣城の四方に砦を築き武田方より奪回 (二俣城攻めの際、鳥羽山城に本陣がおかれる) 家康長男信康、二俣城において自刃
	徳川	天正3年 (1575)	
1590	徳川	本能寺の変 小牧・長久手の戦い	家康の関東移封、堀尾吉晴、浜松12万石の城主となる (堀尾吉晴の弟、堀尾氏光 (宗光)、二俣城入城)
	豊臣	小田原の陣 文禄の役	
1600	豊臣	慶長の役	—この頃、二俣城・鳥羽山城の石垣が整備される—
	徳川	慶長5年 (1600)	
	徳川	関ヶ原の戦い	堀尾氏、出雲へ移封、二俣城・鳥羽山城廃城

**注意事項**

- ★急傾斜地や、深く掘られた箇所がありますので、足元には十分ご注意ください、立入禁止の表示をお守りください。
- ★現地には危険箇所や私有地があります。公園として開放されている箇所以外への立入りは、説明会当日以外ご遠慮ください。
- ★撮影された画像等を公開する際には、他の来場者について人物が特定されないようご注意ください。
- ★報道取材の方は、あらかじめスタッフにお声かけください。

**お問い合わせ**

浜松市市民部文化財課

〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

Tel: 053-457-2466 Fax: 053-457-2563 E-mail: bunkazai@city.hamamatsu.shizuoka.jp